

介護職員初任者研修の通信研修について

新潟青陵大学短期大学部

1. 通信研修として実施する科目及び時間数について

本研修の講義の一部を通信方式で実施します。該当科目、講義相当時間は下表のとおりです。

科目の細目	研修時間数			担当講師
	計	通学	通信	
2 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）				
人権と尊厳を支える介護	4.5	0.75	3.75	柳澤利之
自立に向けた介護	4.5	0.75	3.75	柳澤利之
3 介護の基本（6時間）				
介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.75	1	0.75	近藤トシコ
介護職の職業倫理	1.25	0.5	0.75	近藤トシコ
介護における安全管理とリスクマネジメント	1.75	1	0.75	沼澤和子
介護職の安全	1.25	0.5	0.75	沼澤和子
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）				
介護保険制度	4.5	0.5	4	柳澤利之
医療との連携とリハビリテーション	2	0.5	1.5	柳澤利之
障害福祉制度及びその他の制度	2.5	0.5	2	柳澤利之
5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）				
介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	坂井香菜美
介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	坂井香菜美
6 老化の理解（6時間）				
老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	柳澤利之
高齢者の健康	3	1.5	1.5	柳澤利之
7 認知症の理解（6時間）				
認知症を取り巻く状況	1.5	0.5	1	山口友江
医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5	1	0.5	山口友江
認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5	1	0.5	山口友江
家族への支援	1.5	0.5	1	山口友江
8 障害の理解（3時間）				
障害の基礎的理解	1	0.5	0.5	山口友江
家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5	山口友江
障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	0.5	0.5	山口友江
9 こころとからだのしくみと生活支援技術（7.5時間）				
■ 基本知識の学習 1.2時間				
介護の基本的な考え方	4	0	4	坂井香菜美
介護に関するこころのしくみの基本的理解	4	0	4	坂井香菜美
介護に関するからだのしくみの基本的理解	4	0	4	坂井香菜美
合計	130	89.5	40.5	-

※上記の 部分が通信研修相当時間です。

※上記に記載がない科目については全て通学方式で講義及び実技を実施します。

(5) レポートの評価

- ・提出されたレポート答案を担当講師が添削します。
- ・理解度の高い順に理解度の高い順に S・A・B・C・F の 5 区分とし、C 以上で評価基準を満たしたものと認定します。
- ・評価基準は 100 点を満点とし、S=90 点以上、A=80～89 点、B=70～79 点、C=60～69 点、F=60 点未満とします。
- ・F であったレポート課題については、再提出させ、再評価を行います。

(6) 質疑応答及び個別面接指導

- ・レポート課題に係る質疑等は、Gmail により各科目の担当講師が随時対応します。
- ・質問がある場合は、別添 1 の「質問票」に記載の上、担当講師または学務課へ Gmail で送付して下さい。
- ・理解度に応じて面接指導が必要な場合、または受講者が希望する場合は、各講師の研究室等の学内で対面指導を行います。Gmail で日程調整を行います。

(7) 担当講師及び学務課の連絡先

春口 好介	haruguchi@n-seiryu.ac.jp
柳澤 利之	yanagisawa@n-seiryu.ac.jp
山口 友江	to-yamaguchi@n-seiryu.ac.jp
坂井 香菜美	sakai@n-seiryu.ac.jp
宮 淑恵	yomiya@n-seiryu.ac.jp
近藤 トシコ	to-kondo@mail.n-seiryu.ac.jp
沼澤 和子	kanumazu@mail.n-seiryu.ac.jp
学務課	kyogaku@n-seiryu.ac.jp

3. レポート課題及び提出期限について

第 1 回レポート提出	提出期限：令和 6 年 5 月 31 日 18 時
-------------	---------------------------

科目 No：3 科目名：介護の基本 講師：近藤トシコ

課題 No3-1 介護環境の特徴と介護の専門性について 300 字以上で述べなさい。

(テキスト P84-P101 参照)

課題 No3-2 介護職の職業倫理について 300 字以上で述べなさい。

(テキスト P102-105 参照)

課題 No3-3 介護における安全確保について、事故防止と感染対策の観点から 300 字以上で

述べなさい。(テキスト P106-P117 参照)

課題 No3-4 介護職の心身の健康管理について 300 字以上で述べなさい。

(テキスト P118-P129 参照)

課題 No3-5 介護職のストレスマネジメントについて 300 次以上で述べなさい。

(テキスト P118-P129 参照)

科目 No : 9 科目名 : 心とからだのしくみと生活支援技術 (介護の基本的な考え方)

講師 : 近藤トシコ

課題 No9-1 介護の概念、定義について、社会福祉士及び介護福祉士法の定義を踏まえて 400 字以上で述べなさい。(テキスト P2-P3 参照)

課題 No9-2 医学モデルと生活モデルについて 400 字以上で述べなさい。

(テキスト P4-P5 参照)

課題 No9-3 根拠に基づく介護実践について、介護過程との関連も踏まえて 400 字以上で述べなさい。(テキスト P4-P6 参照)

課題 No9-4 介護福祉士の資格取得方法について 400 字以上で述べなさい。

(テキスト P9-P10 参照)

科目 No : 9 科目名 : 心とからだのしくみと生活支援技術 (介護における心とからだのしくみの基本的理解)

講師 : 沼澤和子

課題 No9-5 学習と行動の関係に関する理論について 400 字以上で述べなさい。

(テキスト P10-P11 参照)

課題 No9-6 記憶の分類について 400 字以上で述べなさい。(テキスト P12-P13 参照)

課題 No9-7 マズローの人間の欲求に関する理論について 400 字以上で述べなさい。

(テキスト P17 参照)

課題 No9-8 適応機制について 400 字以上で述べなさい。(テキスト P19-P20 参照)

科目 No : 9 科目名 : 心とからだのしくみと生活支援技術 (介護におけるからだのしくみの基本的理解)

講師 : 沼澤和子

課題 No9-9 骨、関節、筋肉の構造とはたらきについて 400 字以上で述べなさい。

(テキスト P32-P37 参照)

課題 No9-10 ボディメカニクスの基本原理解について 400 字以上で述べなさい。

(テキスト P38-P39 参照)

課題 No9-11 中枢神経と体性神経の役割とはたらきについて 400 字以上で述べなさい。

(テキスト P40-P45 参照)

課題 No9-12 自律神経と内部器官の構造とはたらきについて 400 字以上で述べなさい。

(テキスト P46-P61 参照)

課題 No9-13 利用者の様子の普段との違いに気づく視点について 400 字以上で述べなさい。

(テキスト P2-P61 参照)

第 2 回 提出期限：令和 6 年 6 月 30 日 18 時

科目 No：4 科目名：介護・福祉サービスの理解と医療との連携 講師：柳澤利之

課題 No4-1 介護保険制度とは何か、次のキーワードを使用して 400 字以上で述べなさい。
キーワード「保険者」「被保険者」「要介護状態」「要支援状態」「要介護認定」
(テキスト P144-P151 参照)

課題 No4-2 介護保険制度における保険給付の種類と内容について 400 字以上で述べなさい。
(テキスト P152-P159 参照)

課題 No4-3 リハビリテーションの理念、定義、目的、専門職について 400 字以上で述べなさい。
(テキスト P176-P181 参照)

課題 No4-4 介護職と看護職の専門性と連携の必要性について 400 字以上で述べなさい。
(テキスト P166-P175 参照)

課題 No4-5 障害者総合支援制度について、次のキーボードを使用して 400 字以上で述べなさい。
キーワード「自立支援給付」「地域生活支援事業」「介護給付」「訓練等給付」「障害支援区分認定」(テキスト P182-P197 参照)

課題 No4-6 「成年後見制度」と「日常生活自立支援事業」の概要について 400 字以上で述べなさい。
(テキスト P198-P201 参照)

科目 No：5 科目名：介護におけるコミュニケーション技術 講師：坂井香菜美

課題 No5-1 コミュニケーションにおける言語チャンネルと非言語チャンネル、聴くことの 4 つの側面について 300 字以上で述べなさい。(テキスト P216-P222 参照)

課題 No5-2 バイステックの 7 原則について 300 字以上で述べなさい。
(テキスト P233 参照)

課題 No5-3 記録の書き方と留意点について 300 字以上で述べなさい。
(テキスト P249-P253 参照)

課題 No5-4 報告・連絡・相談の意義と目的、具体的方法と留意点について 300 字以上で述べなさい。
(テキスト P254-P257 参照)

第3回 提出期限：令和6年7月31日 18時

科目 No：7 科目名：認知症の理解 講師：山口友江

課題 No7-1 認知症ケアの理念について 400 字以上で述べなさい。

(テキスト P332-P335 参照)

課題 No7-2 認知症とは何か、200 字以上で述べなさい。(テキスト P336-P359 参照)

課題 No7-3 認知症の中核症状と BPSD (行動・心理症状) について 200 字以上で述べなさい。(テキスト P360-P365 参照)

課題 No7-4 認知症の利用者への環境整備について 200 字以上で述べなさい。

(テキスト P366-P367 参照)

課題 No7-5 認知症の利用者とのコミュニケーション及び介護の原則について 400 字以上で述べなさい。(P368-P373)

課題 No7-6 家族介護者の心理過程と葛藤について 400 字以上で述べなさい。

(テキスト P374-P375 参照)

課題 No7-7 テキスト P372-373 の事例を読んだ感想を 200 字以上で述べなさい。

課題 No7-8 認知症の人を介護する家族へのレスパイトケアについて 400 字以上で述べなさい。(テキスト P378-P379 参照)

科目 No：8 科目名：障害の理解 講師：山口友江

課題 No8-1 障害の法的定義について 200 字以上で述べなさい。(テキスト P384-P386 参照)

課題 No8-2 テキスト P394-P435 に掲載されている様々な障害の中から、自分が興味を持った障害を 1 つ選び、要点について 200 字以上で述べなさい。

課題 No8-3 レスパイトサービスの定義について 200 字以上で述べなさい。

(テキスト P436-P441 参照)

第4回 提出期限：令和6年10月31日 18時

科目 No：2 科目名：介護における尊厳の保持・自立支援 講師：柳澤利之

課題 No2-1 介護における権利擁護と人権尊重について、日本国憲法第13条と第25条を踏まえ400字以上で述べなさい。(テキスト P44-P46 参照)

課題 No2-2 介護における権利擁護と人権尊重について、次のキーワードを使用して400字以上で述べなさい。キーワード：「エンパワメント」「アドボカシー」「プライバシー」「QOL」「ノーマライゼーション」(テキスト P56-P59 参照)

課題 No2-3 高齢者虐待防止法及び障害者虐待防止法の概要について400字以上で述べなさい。(テキスト P60-P67 参照)

課題 No2-4 身体拘束について、どのような行為が身体拘束にあたるか、またなぜ禁止されているか、例外規定を含めて400字以上で述べなさい。
(テキスト P60-P67 参照)

課題 No2-5 介護における自立とは何か、400字以上で述べなさい。
(テキスト P68-P75 参照)

課題 No2-6 廃用症候群について400字以上で述べなさい。(テキスト P76-P79 参照)

課題 No2-7 介護予防とは何か、200字以上で述べなさい。(テキスト P73-P79 参照)

科目 No：6 科目名：老化の理解 講師：柳澤利之

課題 No6-1 テキスト P269-P293 に掲載されている様々な老化に伴う心身の変化の中から、自分が興味を持ったものを1つ選び、要点について300字以上で述べなさい。

課題 No6-2 テキスト P294-P325 に掲載されている様々な症状、疾患、疾病の中から、自分が興味を持ったものを1つ選び、要点について300字以上で述べなさい。

別添 1

新潟青陵大学短期大学部 介護職員初任者研修

質 問 票

学籍番号		氏名	
質問事項	<input type="checkbox"/> レポート課題について 科目名 _____ 講師名 _____ →担当講師宛		<input type="checkbox"/> 事務手続きについて →学務課 kyogaku@n-seiryu.ac.jp 宛
質問内容			
回答 ※大学側記載	担当者名		